



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月31日

上場会社名 群栄化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4229 URL <https://www.gunei-chemical.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)有田 喜一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 執行役員コーポレート本部長 (氏名)丸山 克浩 (TEL)027-353-1810
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	21,742	18.7	2,093	44.7	2,298	44.1	1,584	44.2
2021年3月期第3四半期	18,315	△10.1	1,446	△7.0	1,595	△6.6	1,098	△8.3

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 1,262百万円 (△25.8%) 2021年3月期第3四半期 1,700百万円 (7.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	239.11	—
2021年3月期第3四半期	165.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	52,996	44,335	80.9
2021年3月期	51,984	43,750	81.2

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 42,886百万円 2021年3月期 42,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2022年3月期	—	50.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	40.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期第2四半期末配当金の内訳: 普通配当40円00銭 記念配当10円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	15.1	2,800	26.3	3,000	22.4	2,000	24.4	301.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期3Q	8,998,308株	2021年3月期	8,998,308株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,370,212株	2021年3月期	2,369,662株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期3Q	6,628,351株	2021年3月期3Q	6,643,687株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2021年4月1日から2021年12月31日)における世界経済は、新型コロナウイルスの変異株の出現や世界的な半導体不足の影響、原油価格の高騰など景気下振れ要素があったものの、ワクチン接種等各国の拡大防止策の効果や米国・中国の経済活動正常化により回復基調で推移いたしました。先行きは、感染力の強い変異株拡大に対する防疫措置による経済活動の回復が期待されるものの、原油価格の高止まりや国際的な商品需給の逼迫の長期化によるインフレ加速が懸念されるなど、依然として不透明な状況で推移すると見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは、市場、顧客ニーズの探索に注力し、これまで培ってきた当社グループの技術を活かした提案型営業活動の強化に努めました。またIT技術を活用した働き方改革や業務改善に取り組み更なる経営基盤の強化を図ってまいりました。

化学品事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前年同期と比較し総じて回復基調となりました。半導体関連及び液晶関連向け樹脂は国内外の需要拡大により高水準を維持いたしました。自動車関連向け樹脂は前半からの部品不足による減産の影響を一部受けましたが、建設機械及び工作機械向け樹脂は昨年度後半より回復基調で推移いたしました。以上の結果、化学品事業は増収となりました。

食品事業は、新型コロナウイルス感染症と夏場の天候不順の影響があったものの一部飲料向け製品が回復したこと及び原材料価格高騰分の価格是正を行った結果、前年同期と比較して増収となりました。

不動産活用業は、ほぼ前年並みで推移いたしました。

以上の結果、当社グループの売上高は前年同期比18.7%増加の21,742百万円となりました。利益面では、原材料価格の高騰の影響を受けましたが、前年同期からの売上高の回復、また、高付加価値製品の拡販等により、営業利益は前年同期比44.7%増加の2,093百万円、経常利益は前年同期比44.1%増加の2,298百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比44.2%増加の1,584百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比べ1,011百万円増加し、52,996百万円となりました。これは、売上高の増加及び当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休日だったため売上債権の回収が翌月になったことによる売上債権の増加と原材料価格の高騰による棚卸資産価額の増加、また、設備投資による有形固定資産の増加によるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比べ427百万円増加し8,661百万円となりました。これは、親会社の退職一時金を確定給付年金へ移行したことによる退職給付に係る負債の減少があったものの、当第3四半期連結会計期間末が金融機関の休日だったため仕入債務の支払いが翌月になり増加したこと及び売上高増加、原材料価格高騰による仕入債務が増加したことによるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ584百万円増加し、44,335百万円となりました。これは、有価証券の評価差額金の減少及び利益配当の実施による減少があったものの、それを上回る親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年9月14日発表の通期の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,740	6,400
受取手形及び売掛金	7,571	8,646
有価証券	4,400	3,700
商品及び製品	2,098	2,199
仕掛品	729	808
原材料及び貯蔵品	1,177	1,549
その他	222	206
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	22,938	23,509
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,865	22,815
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,607	△16,812
建物及び構築物(純額)	6,257	6,003
機械装置及び運搬具	32,529	32,272
減価償却累計額及び減損損失累計額	△29,439	△29,567
機械装置及び運搬具(純額)	3,090	2,704
土地	7,969	7,969
リース資産	138	762
減価償却累計額及び減損損失累計額	△54	△89
リース資産(純額)	84	672
建設仮勘定	513	1,164
その他	3,130	3,040
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,679	△2,631
その他(純額)	451	409
有形固定資産合計	18,366	18,924
無形固定資産		
のれん	333	222
その他	79	75
無形固定資産合計	412	297
投資その他の資産		
投資有価証券	9,018	9,064
その他	1,322	1,298
貸倒引当金	△73	△97
投資その他の資産合計	10,267	10,265
固定資産合計	29,046	29,487
資産合計	51,984	52,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,720	4,396
未払金	1,341	1,268
未払法人税等	472	122
賞与引当金	388	224
その他	136	281
流動負債合計	6,059	6,294
固定負債		
環境対策引当金	5	5
固定資産撤去引当金	22	22
退職給付に係る負債	1,508	984
その他	638	1,354
固定負債合計	2,174	2,367
負債合計	8,233	8,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	25,690	25,690
利益剰余金	15,997	16,986
自己株式	△6,227	△6,228
株主資本合計	40,461	41,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,662	1,434
為替換算調整勘定	68	△5
退職給付に係る調整累計額	11	9
その他の包括利益累計額合計	1,743	1,438
非支配株主持分	1,546	1,448
純資産合計	43,750	44,335
負債純資産合計	51,984	52,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	18,315	21,742
売上原価	14,085	16,549
売上総利益	4,230	5,192
販売費及び一般管理費	2,783	3,099
営業利益	1,446	2,093
営業外収益		
受取利息	35	22
受取配当金	83	92
受取補償金	—	35
その他	33	67
営業外収益合計	152	217
営業外費用		
支払利息	0	8
その他	2	4
営業外費用合計	3	12
経常利益	1,595	2,298
特別利益		
その他	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産処分損	8	17
貸倒引当金繰入額	—	24
特別損失合計	8	41
税金等調整前四半期純利益	1,586	2,258
法人税、住民税及び事業税	304	405
法人税等調整額	110	226
法人税等合計	415	632
四半期純利益	1,171	1,626
非支配株主に帰属する四半期純利益	72	41
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,098	1,584

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,171	1,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	869	△230
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△347	△131
退職給付に係る調整額	7	△2
その他の包括利益合計	529	△364
四半期包括利益	1,700	1,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,766	1,280
非支配株主に係る四半期包括利益	△65	△17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	14,897	3,233	184	18,315
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	14,897	3,233	184	18,315
セグメント利益又は損失(△)	1,379	△58	125	1,446

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計 (注)
	化学品事業	食品事業	不動産活用業	
売上高				
外部顧客への売上高	18,026	3,530	185	21,742
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	18,026	3,530	185	21,742
セグメント利益	1,922	47	123	2,093

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。